

受講者氏名：	コース入校日：
パイロット会員No.	グライダー名：

タンデムパイロット実技事前レクチャー

科目	内容	実施日	実施者サイン	受講者サイン
1. タンデムフライト機材	タンデム機材に関して、取り扱い			
2. 準備	受付、準備、プレフライトチェック			
3. テイクオフ	フロントテイクオフ、リバーステイクオフ			
4. 直線飛行	ブレイクコードの持ち方、速度調整			
5. 旋回	方法、注意点			
6. 降下手段	ビッグイヤー、スパイラル			
7. アプローチ	風に応じたアプローチの理解			
8. ランディング	風に応じたランディングの理解			

タンデムパイロット実技内容（達成目標：5日間20本）

科目（練習日および達成目標）	練習日				
1 準備（毎回）					
パッセンジャーにタンデムフライトの内容に関して正しく説明を行える。					
プレフライトチェック、スタートチェック（7チェック）がいつも同じ手順で行える。					
機材の装着方法および使用方法が正しい。スプレッダーの取り付け位置など。					
2 フロントテイクオフ（毎回 *最低5回以上）					
風、パッセンジャーに合わせた基本姿勢ができています。風に合わせて立ち位置を変えている。					
ライズアップ - いつも同じ重みを感じている。傾き修正、取りやめの判断ができる。					
正しい姿勢でキャンピーを頭上安定できる。取りやめができる。					
ラインとキャンピーの目視が効果的にできる。					
加速 - キャンピーとのバランスが良い。目線が良い。					
離陸後5秒はスタンディングポジション。ブレイク操作（ピッチコントロール）が行える。					
適切な空間で、パッセンジャーをハーネスに座らせることができる。					
3 リバーステイクオフ（毎回 *最低5回以上）					
風、パッセンジャーに合わせた基本姿勢ができています。風に合わせて立ち位置を変えている。					
ライズアップ - いつも同じ重みを感じている。傾き修正、取りやめの判断ができる。					
スムーズな振り返りで、なおかつキャンピーが安定している。					
加速 - キャンピーとのバランスが良い。目線が良い。					
スタンディングポジションができる。ブレイク操作（ピッチコントロール）が行える。					
適切な空間で、パッセンジャーをハーネスに座らせることができる。					

4 直線飛行（1～3本目）													
様々なコンディションで最良滑空速度を見つける（グライドパスの理解）。													
トリマーを正しく使用できる。													
ピッチコントロールができる。													
5 旋回技術（4～8本目）													
2周連続した360度旋回。1周12秒程度。素早いロールイン、バンク維持。													
目標を定めた正確なロールアウトができる。													
6 リアライザーでの旋回（9本目）													
リアライザーでの方位修正ができる。													
7 フィギュアエイト（10～15本目）													
28秒程度でのフィギュアエイト													
左右均等な円になっている。													
バンクの維持ができる。ローリングを用いた切り替えしができる。													
開始、切り返し、終了の各目標のズレは10度以内で揃っている。													
評価をする講師が見やすい位置で行えている。													
8 ビッグイヤー（16本目）													
ビッグイヤーでの直線飛行													
ビッグイヤーでの方位修正（90度）													
9 スパイラル（1 - 1 - 1）（17～18本目）													
1周目で導入。													
バンク維持													
導入開始方向への離脱。													
10 サーマルソアリング（19～20本目）													
360度旋回での上昇。バンクの維持ができる。													
11 アプローチ(毎回)													
風に応じたアプローチの選択ができる。													
旋回では余分な振り子でパッセンジャーへの負担を掛けないケアができています。													
速度管理ができています。													
ピッチコントロールができる。													
ファイナルアプローチの直線が4秒以上ある。ファイナルアプローチはスタンディングポジション。													
12 ランディング（毎回）													
指定地ランディング（半径10m）													
風に応じたランディング（タッチダウン）方法が選択できる。ブレーキングが十分に効いている。													
パッセンジャーを安全に着地させることができる。													

13 救急法							
救急法講習会の受講							
14 ツリーランディング脱出トレーニング							
パッセンジャーを安全に樹上から降ろすことができる。							
15 パッセンジャーに対する配慮（毎回）							
すべての場面でパッセンジャーに対して配慮ができる。							

フライト本数（練習日）

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
補	補	補	補	補
補	補	補	補	補